六甲大学
ROKKO-SAN DAIGAKU

六甲山にまつわる自然、環境、文学、食などの多彩な催しや情報を、大学のカリキュラムに見立てて情報発信する「六甲山大学」。そのプログラムの紹介を通して、六甲山の魅力に迫ります。　（毎月第２火曜日に掲載）

兵庫おでかけ情報 青空主義プラス

「風の教会」公開へ
旧「六甲オリエンタルホテル」

コンクリート壁の教会の周囲を六甲の自然が囲む＝いずれも神戸市灘区六甲山町

９月12日から六甲山上を舞台に開かれる現代アートの祭典「六甲ミーツ・アート～芸術散歩2015」の会場に、旧「六甲オリエンタルホテル」（神戸市灘区六甲山町）が選ばれた。併設する安藤忠雄氏設計の「風の教会」の内部にも作品を展示する。安藤建築の教会三部作の一つで、国内外の建築愛好家らに根強い人気を誇る。一般公開を前に、注目の建物を訪ねた。

六甲ケーブル「六甲山上駅」から約20分歩くと、旧「六甲オリエンタルホテル」に着いた。ベージュ色の上品な壁は2007年に閉鎖した当時のまま。裏庭に回ると長い廊下、その先に礼拝堂の姿が見えた。風の教会だ。

廊下の幅2・7㍍、長さ40㍍。すりガラスで囲まれ、空から降り注ぐ太陽の光をろ過。中は、自然の柔らかい明るさに包まれている。

光に誘われるように先へ進み、安藤建築の代名詞ともいえるコンクリート打ちっ放しの礼拝堂の扉を開ける。いきなり大きな窓が目に飛び込む。透明ガラスの向こうには緑があふれる。ここでも自然の光が、スポットライトのように山の自然を染める。

計算された演出ながら、思わずため息が出る。正面の聖壇をはじめ鉄製の家具が素朴な壁と調和。モダンさの中に厳粛な雰囲気が漂う。北海道占冠（しむかっぷ）村の「水の教会」、大阪府茨木市の「光の教会」と並び、安藤作品の教会三部作といわれる。海外からの評価も高く、安藤氏はこの3作品でイタリアの財団から国際教会建築賞を受けている。

建物を管理する六甲山観光・観光事業部の野田英明部長(47)は「ヨーロッパから建築の専門家の団体が見学に来たこともありました」と説明してくれた。六甲ミーツ・アートでは教会内で、京都の作家・八木良太さんが出展。音と光を使った空間芸術を披露する。

野田さん自身も21年前、ここで挙式。いわば思い出の地で、「ホテルが閉鎖された時は残念だったが、ミーツ・アートをきっかけに再生を目指したい」と意欲を見せていた。（津谷治英）

長い廊下も柔らかい光に包まれる

大きな窓を彩る緑と、差し込む光に彩られた教会。案内してくれた野田さんにとっても思い出の場だ

メモ　「六甲ミーツ・アート～芸術散歩2015」は9月12日～11月23日。六甲ガーデンテラス、六甲山カンツリーハウスなど山上各地の施設で招待、公募合わせて31組のアーティストが35作品を展示する。詳しくはインフォメーション☎078・891・0048（平日10～18時）

光の空間とアート競演

可憐だけど鋭い花びら
カワラナデシコ

トトと発見　マイベスト六甲

神戸市森林整備事務所　重藤洋一所長

六甲山大学のマスコット「トト」が、六甲山、摩耶山で働いている人や、暮らしている人を訪ね、隠れ名所やスポットを聞くコーナーです。今回は神戸市森林整備事務所の重藤洋一所長(51)に、夏の六甲で観察できる花について紹介してもらいました。

トト　うすいピンクの上品な花ですね。

重藤　これは「カワラナデシコ」＝**写真、神戸市立森林植物園提供**＝といいます。市街地ではあまり見かけなくなったね。ナデシコというと何か連想しないかな。そう、日本女子サッカーチーム「なでしこジャパン」だよ。チームの活躍とともに、この花も静かなブームになっている。可憐（かれん）だけど、細い毛のように先の鋭い花びらは、快進撃を続けた日本女子のシャープさを表現しているようだね。

トト　どこで見られますか。

重藤　六甲山の中腹から上なら、日当たりのいい草原で7～8月に咲くんだけれど、数が非常に少ないんだ。神戸市立森林植物園に植栽されているので、そこでの観賞がお薦めだね。六甲山は標高900㍍以上あるので、ほかにも、普段、あまり見られない花を見ることができるよ。

トト　例えば。

重藤　ホツツジだね。ツツジといえば、春から初夏のイメージがあるけど、ホツツジは一年を通じて最後に花を咲かせる種類。六甲ガーデンテラス付近のハイキングコースなどで9月ごろまで白い花を咲かせます。米粒のように小さい花なので、見逃す人も多いかも。でも山歩きの合間に、付近を見回すと新たな発見がある。六甲の植物観察は夏休みの課題学習にお薦めだね。

トトと発見　マイベスト六甲

好奇心旺盛なアンゴラウサギで、六甲山大学の生徒。課外授業で六甲の名所を取材する。

芸術学部

◆神戸ストラット　in 摩耶山掬星台～元気にやっとうよ　22日11～16時、摩耶山掬星台（摩耶ロープウェー「星の駅」）。神戸の魅力を全国に発信する野外フェス。出演はワタナベフラワー、にこいち、嘉門達夫など。神戸と同じ震災を経験した東北の人たちも招待する。摩耶山のごみ問題、マナーなどについても考える。無料。予約不要。摩耶山再生の会☎078・882・3580

◆夏の終わりのサンセットＪＡＺＺライブ　29日17、18時の２回公演（各回30分程度）。ＴＥＮＲＡＮ ＣＡＦＥ（六甲ケーブル「六甲山上」駅）。夜景とディナー、ジャズの生演奏を楽しむ。演奏は仲曽根有里トリオ。無料（鑑賞はＣＡＦＥ利用者のみ）。予約不要。同ＣＡＦＥ☎078・891・1011

◆オープンハート・イルミネーション点灯　31日までの19～22時、摩耶山掬星台展望台（摩耶ロープウェー「星の駅」）。六甲・摩耶の麓にある神戸松蔭女子学院大学に直径４㍍のハート形のイルミネーションを点灯。1000万ドルの夜景が望める展望台から、真っ赤なハートを見ることができる。無料。予約不要。同大学☎078・882・6159

食文化学部

◆オープンハートそうめん流し　29日12～15時、摩耶山掬星台（摩耶ロープウェー「星の駅」）。神戸で作られたそうめんを提供。手打ちパスタの「オープンハート」をキャッチできた人には「ラブラブ双眼鏡」を贈る。先着100人。予約不要。100円。神戸松蔭女子学院大学☎078・882・6159

◆六甲山の体験農園　９月中旬まで六甲山カンツリーハウス内の六甲山の体験農園（六甲ケーブル「六甲山上」駅から六甲山上バス「六甲山カンツリーハウス」）。①イチゴの摘み取り体験＝11、15時の２回、1200円（土日祝は12時からも含め３回）②イチゴの摘み取り＆ピザ作り体験＝11、12時の２回、2200円（土日祝のみ）。

７月21日にオープンした「六甲山の体験農園」では夏採りイチゴ2000株を栽培＝**写真**。摘み取ったイチゴで本格的なデザートピザを作ることができる。要予約。各回先着20人。前日17時までにインターネットで申し込む。入園料は中学生以上620円、４歳～小学生310円、犬100円。六甲山カンツリーハウス☎078・891・0366

◆おはぎを作ろう　９月23日10時半～15時、神戸市立森林植物園展示館広場集合（神鉄「北鈴蘭台」駅から無料送迎バス）。講師はＪＡ兵庫六甲・小部女性会のメンバー。子どもたちとおはぎを作る。100円（別途入園料高校生以上300円、小中学生150円）。先着200人（当日受け付け）。同園☎078・591・0253

環境学部

◆ミントサロン「六甲山と水の話」　27日19時～20時半、ミント神戸18階のミントテラス（ＪＲ「三ノ宮」駅）。講師は阪急阪神ホールディングス・グループ経営企画室の上田均さん。六甲山系と地下水の話、六甲のおいしい水には２種類あるなどについて話す。定員50人。参加費500円。名前、年齢、性別、住所、電話番号、職業を明記し、24日までにメール（mintsalon@kobe-np.co.jp）で六甲山大学事務局ミントサロン係へ申し込む。応募多数の場合は抽選し当選者のみメールで聴講券を返信。同事務局☎078・362・2983

◆二つ池でトンボたちを探そう！　**2015年六甲山子どもパークレンジャー・特別観察会**　９月６日10～15時、六甲山自然保護センター（阪急「六甲」駅からバス「記念碑台」）。講師は久門田充さんと運営スタッフ。ルリ色に輝く「オオルリボシヤンマ」を探す。またトンボの産卵など、水生生物の観察・調査。小学３年生以上対象（親子参加の場合は５歳以上）。弁当、水筒、雨具、筆記具など持参。長袖・長ズボン、帽子、滑りにくい靴着用（蚊が多いため各自で対策のこと）。500円（教材費実費）。要予約。先着30人。８月26日までに、ファクス（078・856・6616）などで申し込む。雨天中止時は９月13日に順延。六甲山を活用する会☎050・3743・9897

総合学部

◆夏の自由研究！　六甲枝垂れ探検ツアー　23日14時（所要時間約50分）、自然体感展望台・六甲枝垂れ（六甲ケーブル「六甲山上」駅から六甲山上バス「六甲ガーデンテラス」）。普段見ることができない六甲枝垂れの裏側を探検し、展望台の仕組みや山の気候などについてスタッフが解説。夏休みの自由研究に役立つ書き込みシートも贈る。小学生対象。要予約。先着10人。無料（別途入園料４歳～小学生200円）。六甲ガーデンテラス☎078・894・2281

◆秋のわくわくキャンプ　９月19～21日、神戸市立自然の家（摩耶ロープウェー「星の駅」から六甲摩耶スカイシャトルバス「摩耶山市立自然の家前」）。ＪＲ「新神戸」駅１階コンコース集合。登山、飯ごうすいさん、キャンプファイアなど秋の野外活動を楽しむ＝**写真**。小学３～６年生対象。要予約。定員80人。14日までに申し込む。１万1000円。神戸市立自然の家☎078・891・0001

催しの日程、内容などは変更される場合があります。お出かけ前に主催者にご確認ください。ホームページhttp://653daigaku.com/

当社のCSR活動

大和ハウス工業株式会社

大和ハウスグループは、事業を通じて社会と共にあること、そして商品やサービスを通じ、暮らす人と共にあること。この「共創共生」の姿勢を持ち続け、誠実に社会と向き合うことが大切であると考えています。

当社グループでは、社会貢献活動を「地域共生活動」と位置づけ、地域との関わりを大切にし、また、そこにあるニーズや課題を把握し、地域社会発展のために真に必要とされている活動に取り組んでいます。

2013年度の地域共生活動の件数は1,258件となり、特色ある地域支援活動を中心に、教育支援活動、東日本大震災の被災地支援活動等を実施してきました。

関西エリアでは、奈良県吉野山で桜の保全活動を2008年より毎年実施。兵庫県西宮市立甲陽園小学校では、2015年6月、桜の植樹と和楽器の素晴らしさを次世代に受け継いでいく「SAKURA PROJECT」を開催。六甲山でも、国土交通省六甲砂防事務所の呼びかけに応じ、2008年より「災害に強く、様々な樹種からなる豊かな森」を目指し保全活動を続けるなど、地域ごとに特色のある地域支援活動を行い、地元に貢献しています。

今後も大和ハウスグループでは、様々なステークホルダーと関わりながら、よりよい社会を共に創り、共に生きる活動を継続していきます。

わたしたちは 六甲大学 の活動を応援しています

領域をこえ 未来へ OJI　KOSAIDO　神戸海星女子学院大学　神戸松蔭女子学院大学　santica The New Heart of Kobe 神戸・三宮さんちか　ひとのときを、想う。JT　Daiwa House　想いをかたちに 未来へつなぐ TAKENAKA

【実行委員会】六甲摩耶観光推進協議会／摩耶山観光文化協会／灘百選の会／神戸新聞社　【事務局】神戸新聞地域創造内　E-MAIL:info-653@kobe-np.co.jp